

# 平成 29 年度中学生チャレンジテスト

## 第 2 学年 国 語

### 注 意

- 1 調査問題は、1ページから26ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。  
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号、男女を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

左に、生徒アンケートが二問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。

#### アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるもの一つずつ選びなさい。

- (1) 国語の授業の内容はよく分かる。……………①
- (2) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。……………①

①	当てはまる
②	どちらかといえは、当てはまる
③	どちらかといえは、当てはまらない
④	当てはまらない



問題は、次のページから始まります。

□ 行書で書かれた次の漢字のうち、~~~~線部の漢字を楷書かいしょで正しく一画一画でいねいに書きなさい。



問題は、次のページに続きます。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(星野博美『迷子の自由』による)

1 次の **a** ～ **c** の文にある —— 線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

**a** 友だちが手袋を編てがらんでいた。

**b** 積もった雪の深さを測はかりたくて外に出た。

**c** 辺り一面に雪が降り積もる景けい色しきに感動した。

2 ……線部 **ア** ～ **エ** の動詞のうち、活用形が異なるものを一つ選びなさい。

3 次の **ア** ～ **エ** のうち、

<b>A</b>
----------

 に当てはまる言葉として最も適しているものを、一つ選びなさい。

**ア** 強いでしょう

**イ** 重いでしょう

**ウ** 長いでしょう

**エ** 太いでしょう



4 贈り物<sup>①</sup> とありますが、筆者は、子供たちにとって雪は贈り物と表現しています。それに対して、筆者は、大人たちにとってはどのようなものと表現していますか。最も適している言葉を、本文中から七字で抜き出しなさい。

5 なんて正しいのだろう<sup>②</sup> とありますが、この言葉にふくまれている筆者の気持ちとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 心配
- イ 失望
- ウ 期待
- エ 感動

6 本文は『迷子の自由』という本に収められている文章の一つで、題名がつけられています。淡い喪失感<sup>③</sup>が口いっぱいに広がった という言葉をもとに、筆者がつけたと考えられる題名として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 雪の音
- イ 雪の色
- ウ 雪の味
- エ 雪のやわらかさ

7 ④ 残念な気もしたが、少しほっともしたとありますが、次のア〜エのうち、このときの筆者の心情を説明した文として最も適しているものを、一つ選びなさい。

ア 筆者は、大家さんが犯人は私だとすぐに気づくであろうことを悔しく思っているところもあるが、その反面、すぐ気づいてもらうほうが自分にとってもよいのだとも感じている。

イ 筆者は、わくわくしている自分と比べて、他の大人はいつも通りに日常生活を過ごしていることに腹立たしく思っている一方で、そのほうが当たり前で自然なことのようにだとも感じている。

ウ 筆者は、フロントガラスの雪に思わず手形をつけてしまったことを大人げなかったと恥じているが、子供たちも同じ行為をしていたことに胸をなでおろすような気持ちをも感じている。

エ 筆者は、いつまでも子供の心のままで行動できないことに心残りを覚えているが、同時に、年を重ねた現在、子供のままの自分ではなく、大人になっている自分とわかって安心する気持ちをも感じている。

**8** 筆者は、散歩の間に見た様々な場所で「季節はずれの早い雪」に対する人物の心情を、それぞれの行動を通して生き生きと描いています。もし、あなたが本文中のどこかの場所にいたとすれば、この「季節はずれの早い雪」に対して、どのような思いをもち、行動しますか。次の条件に従ってまとめなさい。

**条件 1** A (空き地)、B (バスの中)、C (アパートの駐車場) から場所を一つ選ぶこと。

**条件 2** その場所での自分の心情と行動の二つを表現すること。

**条件 3** 四十字以上、六十字以内で書くこと。

【三】 山下さんの学級では、学年ごとに行う「合唱コンクール」に向け、練習を重ねています。山下さんたち四人には、歌や学級の取り組みなどについて発表する役割があります。このため、山下さんたちは、発表したい内容を書き出した付箋をアオのグループに分類し、【模造紙】に貼っていきました。次の【模造紙】と【相談場面の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【模造紙】

ア 歌の説明

歌がつくられた  
背景の説明

歌の特色

歌詞の内容や意味

イ 歌の感想、思いなど

歌に対するみんなの  
思いを伝えたい

未来に向かって  
感じがある

歌っていて感じる  
こと

イ 歌を決めた理由

なぜこの歌に  
決めたのか

学級の雰囲気  
にあったりの歌

みんなで歌いやすい歌

ウ 大切にしてきたこと

一人ひとりが声を出す

気持ちをひとつに  
して歌うこと

いつも本番のつもり  
で真剣に

オ 練習の様子

歌を録音し、全員で  
確認しつつ練習した

グループに分かれて  
歌った

他の学級と  
歌い合いをした

【相談場面の一部】

田中さん 発表することを付箋ふせんに書き出したあと、グループに分けていったけど、【模造紙】を見ると、なんとかまとまって良かったね。

山下さん 歌の特色などたくさん①の付箋をこの五つに分類できたものね。

田中さん でも、まだ足りないことや、つけ加えたい内容②はないかな。

古川さん ③そう言われて、今、気づいたけれども、音程がなかなか合わなくて、放課後に何度も練習したことも書いてもいいのではないかな。

中村さん そういうエピソードも大事だと思うし、いいと思うよ。

古川さん ほかにも苦労したことがたくさんあるし、ぜひ書き入れていきたいね。

山下さん でも、スピーチの時間には制限があるよ。

田中さん それで、決められている時間は何分かな。

山下さん 二分以内だって。スピーチの原稿げんごうとしては、多くの分量は書けないよ。

中村さん 二分か。とすると、A。

山下さん それはね、話すのに適切な字数は、一分間に三百字ということだから、二分なら六百字かな。

中村さん そうか。六百字とすると、五つのグループで書いていくには厳しいかも知れないね。

古川さん 提案なんだけど、【模造紙】の「イ 歌を決めた理由」について書くときには、「エ 歌の感想、思いなど」が入ってくると思うので、ここを一つにまとめて、四つのグループで書いていくのはどうかな。これなら四人で分担して書けるしね。

山下さん B ね。それはいい工夫くふうだね。

古川さん それでは、四つのグループをそれぞれが分担して書いていこうか。

中村さん みんなが同じ形式の用紙を使って書くほうが、合わせたときに見やすいと思うよ。

田中さん では、私が持っている原稿用紙を使って書いていくことにしましょう。

山下さん それがいいね。じゃあ、次に、発表するときの工夫も相談しておこうよ。効果的なものはないかな。

中村さん 質問を投げかけたり、身振りを入れたりするような工夫をすれば聞く人をひきつけられると思うよ。

田中さん 魅力的みりよくてきなキャッチフレーズを入れるのも効果がありそうね。

山下さん この歌に関係するものを、実際に見せながらスピーチするのもいいね。

古川さん 歌い終わった次の日にでもアンケートを行い、効果的だったかを確かめようよ。

山下さん それもいいと思うけど、今、相談していることは C についてなので、それはあとで考

えることにしようよ。

1 【相談場面の一部】<sup>①</sup>に、たくさんの付箋をこの五つに分類できたとありますが、次の(1)と(2)の付箋は、【模造紙】の、どのグループにまとめられたと考えられますか。最も適しているものを、【模造紙】のグループの  
ア〜オからそれぞれ一つずつ選びなさい。

(1)  
最初は声がそろわなかった

(2)  
作詞者・作曲者の  
人物紹介

2 【相談場面の一部】<sup>②</sup>の内容の対義語を、【相談場面の一部】から漢字二字で抜き出しなさい。

3 【相談場面の一部】の——線部<sup>③</sup>には、どのような特徴がありますか。最も適しているものを、次のア〜エから一つ選びなさい。

ア 話し合いの方向をとらえ、直前の田中さんの発言をふまえて自分の意見を述べている。

イ 話し合いをさらに進めるために、直前の田中さんの発言の趣旨をまとめた意見を述べている。

ウ 話し合いを活発なものにしようと、あえて直前の田中さんの発言とは正反対の意見を述べている。

エ 話し合いが深まるよう、田中さんの直前の発言内容を繰り返し、多角的な立場に立って意見を述べている。



4 【相談場面の一部】の  で、中村さんは質問をしています。前後の会話をふまえ、会話の流れに合う問  
いかけの言葉を、十字以上、二十字以内で書きなさい。

5 【相談場面の一部】の  には、「人の言葉を受け入れて、自分も同じ意見であることを示す」という意味  
の言葉が入ります。次のア～エのうち、最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア なにしろ
- イ もちろん
- ウ とりわけ
- エ なるほど

6 【相談場面の一部】の  に当てはまる言葉を  で囲まれた部分の最後の山下さんの発言は、直前の古川さんの発言を受けてい  
ます。  の中から、九字で抜き出しなさい。

【レポートの下書き】  
四 次は、木田さんの【レポートの下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【レポートの下書き】

(a) 運動場／(b) グラウンド どちらを使う？

1 はじめに

「運動場に、一緒<sup>いっしょ</sup>に行ってよ。」とお<sup>①</sup>ねが<sup>ねが</sup>いされて、「いいよ。グラウンドね。」と返事をしたとき、ふと「おかしいなあ。」と思った。いつもは気にならなかったが、なぜだか A のだ。

そこで、同じことやものを表す(a)漢字で表される言葉と(b)カタカナで表される言葉とでは、どちらを使うのかを調べてみた。

2 調べた方法

- 文化庁のウェブページをはじめ、インターネットを利用して調べた。
- 小学校の教科書を見直した。
- 家族や先輩<sup>せんぱい</sup>、友だちに聞き取り調査を行った。

3 調べた内容

I 主にどちらの言葉を使うのか《平成11年度と平成27年度の比較》<sup>ひかく</sup>

		(a)を主に使う		(b)を主に使う	
		平成11年度	平成27年度	平成11年度	平成27年度
(1)	(a) 背広 (b) スーツ	34.7%	19.8%	52.8%	68.2%
(2)	(a) 台所 (b) キッチン	77.0%	55.4%	12.1%	25.3%
(3)	(a) 開店する (b) オープンする	44.9%	39.4%	34.6%	35.2%
(4)	(a) (賞品)を <sup>かくとく</sup> 獲得する (b) (賞品)を <sup>かくとく</sup> ゲットする	74.1%	45.3%	14.0%	38.0%

(文化庁資料より作成)

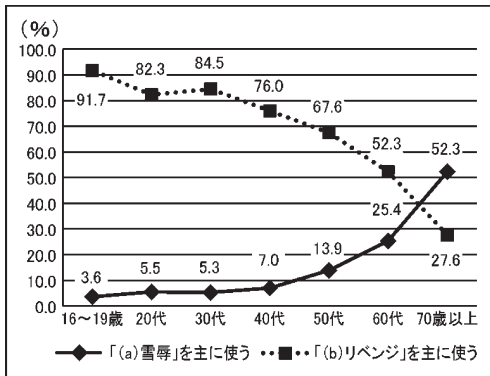
(1)～(4)の(a)と(b)の言葉について平成11年度と平成27年度の調査結果を比べると、(a)を主に使う割合はすべて B [増加・減少] し、逆に(b)を主に使う割合はすべて C [増加・減少] していることが分かる。

特に、(a)を主に使う割合が、平成27年度に20%以上も D [増加・減少] しているのは(2)と(4)であり、また、(b)を主に使う割合をみると、(4)の言葉だけが、平成27年度には20%以上も E [増加・減少] している。

注  
雪辱<sup>せつじやく</sup>Ⅱ試合などで、  
前に負けた相手に勝って恥<sup>はじ</sup>を消すこと。

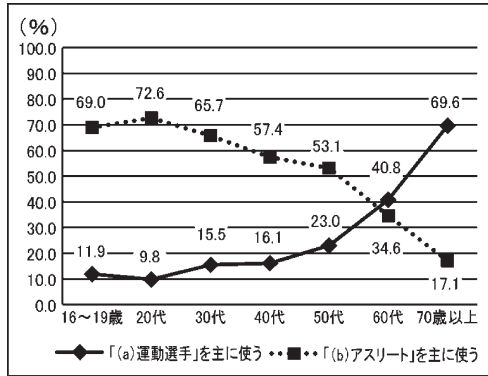
## Ⅱ 主にどちらの言葉を使うのか《平成27年度年齢別の比較》<sup>ねんれいべつ</sup>

「(a) <sup>せつじやく</sup>雪辱 / (b) リベンジ」



(文化庁資料より作成)

「(a) 運動選手 / (b) アスリート」

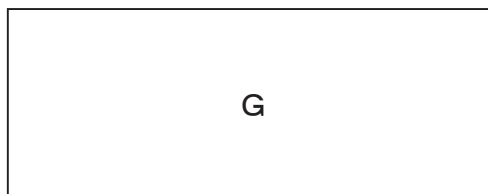
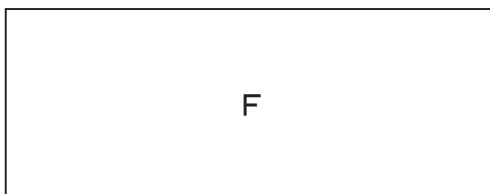


(文化庁資料より作成)

上の2つのグラフから、年齢によって主に使う言葉が異なることがわかる。2つのグラフを比べると、ともに(a)と(b)のグラフの折れ線は② ユウサ <sup>けいこう</sup>するなどその形状はほぼ似ている。(a)を主に使う割合は、年齢が高いほど高くなる傾向があり、(b)を主に使う割合は、年齢が低いほど高くなる傾向がある。そして、「(a) 雪辱」は70歳<sup>さい</sup>以上で、「(a) 運動選手」は60代以上で、「(b) リベンジ」「(b) アスリート」を主に使う割合を上回っている。

## Ⅲ (b)の言葉は、年齢の低い人ばかりが使うのか

《平成27年度 年齢別の比較》



上の2つのグラフからは、(a)を主に使う割合は、すべての年齢で(b)を主に使う割合を上回っていることが分かる。このことから、カナエ <sup>③</sup>ずしも年齢の低い人が(b)を主に使うとは限らず、(a)を主に使う場合もあることが分かる。

## 4 聞き取り調査の結果

1 〜〜線部①〜③のカタカナを文章中の内容に合うように、漢字に直し楷書かいしょでていねいに書きなさい。

① おネがい

② コウサ

③ カナラず

2 次の文章は、調べるきっかけとなった、木田さんの【日記の一部】です。【レポートの下書き】の  に  
入る言葉を、【日記の一部】から七字で抜き出しなさい。

【日記の一部】

七月十二日（水）晴 今日、違和感を覚えた出来事があった。友だちから「昼休み、一緒に運動場いっしょに行ってくれない。」と頼まれて、「いいよ。グラウンドね。」と返事した。ふとその時「おかしいなあ。」と思った。いつもは何も感じない普通の会話なのに、なぜか今日はしっくりしなかった。運動場？ グラウンド？ そういえば、小学生のときに習った覚えがある。何が気になったのだろう。

3 【レポートの下書き】に インターネットを利用して調べた とありますが、次のア～ウのうち、インターネットを利用するときの注意点として適していないものを、一つ選びなさい。

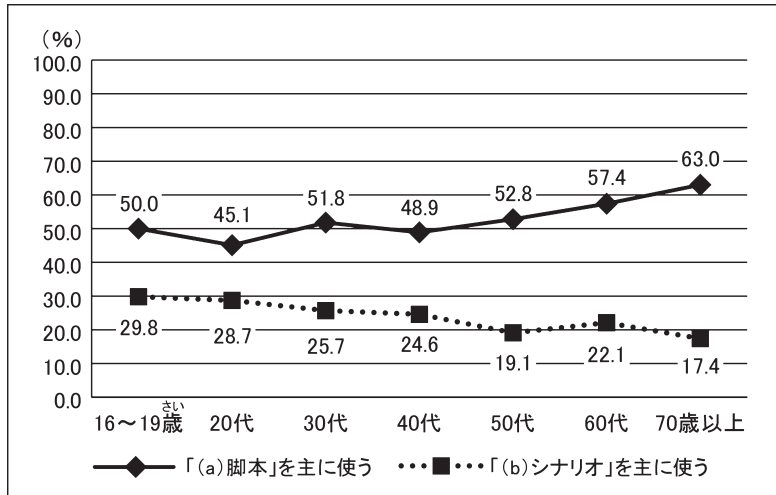
- ア 検索けんさくをして最初に出てくる情報は、一番正確で、最も新しい情報であることを念頭に置いておくこと。
- イ 検索をして得た情報については、複数の情報を比較ひかくするなどして信頼できる情報かどうかを確認すること。
- ウ 検索をして得た情報を引用する際には、その出典を明記するなど著作権法に規定された引用のルールに従うこと。

4 【レポートの下書き】の  ～  には、「増加・減少」のどちらの言葉が当てはまりますか。当てはまる言葉の組み合わせとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

	B	C	D	E
ア	減少	減少	減少	増加
イ	増加	増加	減少	減少
ウ	減少	増加	減少	増加
エ	減少	増加	増加	減少

ア

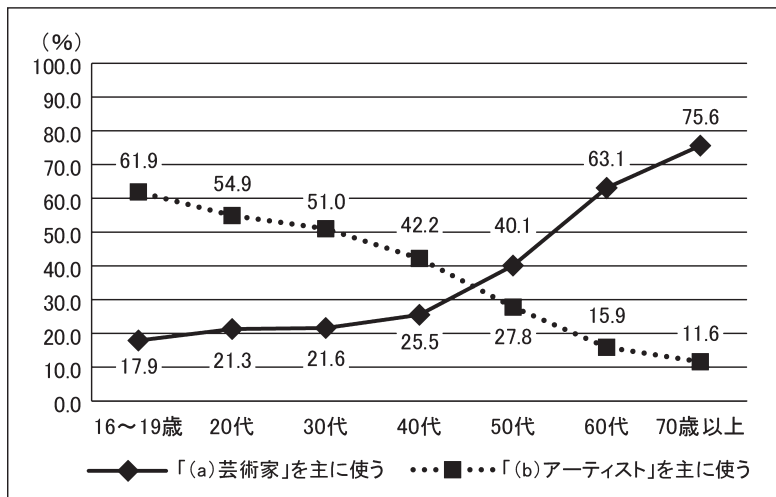
(a) 脚本<sup>きゃくほん</sup>／(b) シナリオ



(文化庁資料より作成)

イ

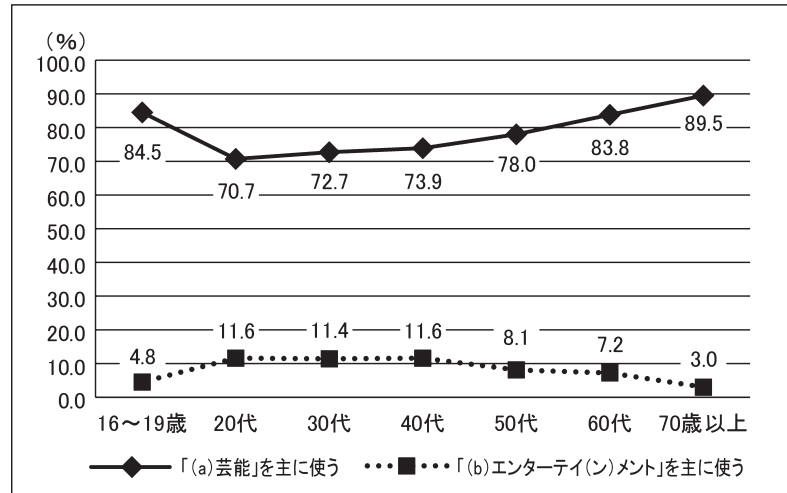
(a) 芸術家／(b) アーティスト



(文化庁資料より作成)

## ウ

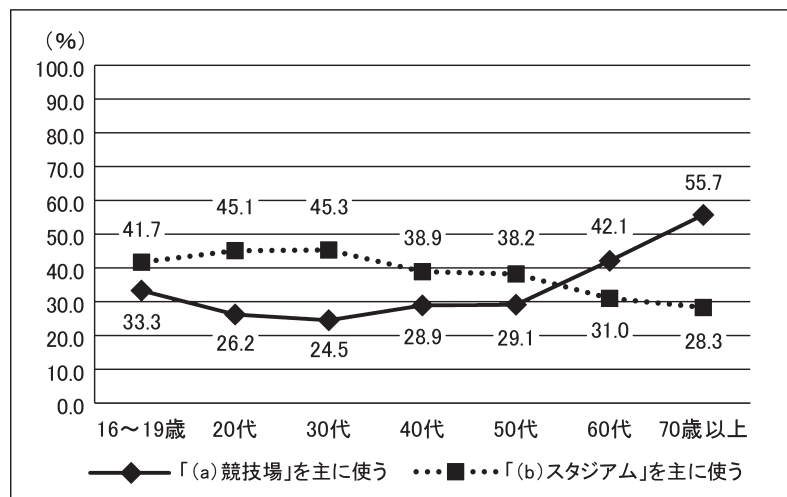
(a) 芸能／(b) エンターテインメント



(文化庁資料より作成)

## エ

(a) 競技場／(b) スタジアム



(文化庁資料より作成)

**6** 同じことやものを表す(a)と(b)の言葉のような「漢字で表される言葉／カタカナで表される言葉」から受けるそれぞれの印象について、次の条件に従って書きなさい。

**条件 1** 「運動選手／アスリート」、「芸術家／アーティスト」、「競技場／スタジアム」から、一つの組み合わせを取り上げて書くこと。

**条件 2** あなたの経験をふくめて書くこと。

**条件 3** 六十字以上、九十字以内で書くこと。



問題は、次のページに続きます。

**五**

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。(なお、設問の都合で、古文に段落番号をつけています。また、「」の一部を省略しています。)

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

『浮世物語』より、一部改変

1 いふやう を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 「さらば」<sup>①</sup> は誰が言った言葉ですか。最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア ある人
- イ 買ひ主
- ウ 売り主
- エ 佐奈田<sup>さなだ</sup>

3 ①の段落を話の展開から前後二つに分けるとすればどこが適していますか。後半部分として最も適しているところの最初の五字を抜き出しなさい。

4 さこそ強からうと思ふたれば<sup>②</sup> とありますが、ここでの現代語訳として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア けっして強い牛ではないと思っていたのに
- イ それほど強い牛だと思っていなかったのに
- ウ さぞかし強い牛だろうと思っていたのに
- エ さらに強い牛がほしいと思っていたのに

5 売<sup>③</sup>りつけられた」は、「買ひ主」の発言の終わりの部分です。その発言の始まりが分かるよう、解答欄に「を書き入れなさい。

6 さればこそ佐奈田とは申しつれ<sup>④</sup> とありますが、次のア、エのうち、「売り主」の言い分として最も適しているものを、一つ選びなさい。

ア 真田幸村は、大阪の陣で勇敢に戦った強い武将です。私の牛も、からだが大きく力も強い勇敢な牛です。だからこそ真田幸村と同じですと言ったのです。

イ 真田幸村は、大阪の陣で自分の軍勢をひきつれず、一人で敵陣に突き進んで行きました。私の牛も、一頭で多くの牛に匹敵するくらい力が強く、走り回れる牛です。だからこそ真田幸村と同じですと言ったのです。

ウ 真田幸村は、大阪の陣で一度も弓を引くことなく、敵を見事な作戦でひっかけて勝ちました。私の牛も真田幸村のように、知恵があり、すばらしい活躍をします。だからこそ真田幸村と同じですと言ったのです。

エ 真田幸村は、大阪の陣で敵から一步も退かないし、敵陣に馬で駆けていきました。私の牛も犁を一步も引かないし、人をみたら角で突こうとします。だからこそ真田幸村と同じですと言ったのです。